

## 令和7年度 自己評価シート（こども園長・副園長・主幹保育教諭用）

行動指針に対する状況を記入します。(1(あてはまらない) ⇄ 3 ⇄ 5(とてもよくあてはまる))※評価の平均値は（少数点第2以下四捨五入）

※評価の計、合計の値は、園長、主幹保育教諭の計、合計の値の平均値を表しています。

行動指針		評価の平均値
<b>1 教育・保育目標に基づく園運営の充実</b>		<b>評価点の計（最大値95）</b>
		<b>83.7</b>
<b>教育課程</b>		21.3
1	園の教育方針を周知し、教育目標の達成に向けて取り組んでいる。	4.7
2	園の教育保育目標を達成するための、教育課程の編成、実施、評価、改善等、一連のカリキュラム・マネジメントを適切に実施している。	4.3
3	教育課程に基づいた指導計画（期・月・週）の立案が適切になされ、保育に生かされている	3.7
4	幼児の安全と育ちを保障する職員体制が構築されている。	4.0
5	自己評価・保護者アンケート・関係者評価等を実施し、園運営の改善を図っている。	4.7
<b>安全</b>		<b>19.7</b>
1	危機管理マニュアルに基づいて、幼児の安全管理を行っている。	4.7
2	緊急時に適切で迅速な対応ができるよう役割分担が明確になっている。	5.0
3	毎月の安全点検や、危険箇所の報告や処理等を適切におこなっている。	5.0
4	アレルギーに対する意思を持ち配慮している。	5.0
<b>連携</b>		18.7
1	園の教育内容が小学校以降の学習の基盤の育成につながることを理解し、組織的に実践している。	4.7
2	小学校の教育内容について交流会や連絡会、研修会を通して連携を図っている。	5.0
3	近隣の保・幼・こ園等と小学校との連絡会を実施している。	5.0
4	地域の人材や施設を活用し、保育に生かしている。	4.0
<b>特別支援教育</b>		<b>16.0</b>
1	全職員で幼児の発達の特性を理解し、適切な指導を行っている。	4.0
2	園内支援委員会を計画的に開催し、適切な指導を行っている。	3.7
3	個別の教育支援計画や個別の指導計画については、内容の確認や教諭への指導助言を行っている。	3.7
4	特別支援教育コーディネーターを中心に、保護者や関係機関と連携を図っている。	4.7
<b>庶務管理</b>		<b>8.0</b>
1	各種文書や情報管理の重要性を理解し、情報の漏洩・データ流出等がないよう適正に管理している。	4.3
2	各種文書やホームページ等で、園の情報を定期的に発信している。	3.7
<b>2 職員の資質の向上</b>		<b>評価点の計（最大値30）</b>
		<b>25.3</b>
1	職員間で一人ひとりの良さが發揮できるようにしている。	4.3
2	保育参観を含めた園内研修を計画的に実施し、職員の資質向上を図っている。	4.7
3	様々な研修会へ職員が積極的に参加できるよう、勤務時間等を工夫している。	5.0
4	研修会参加後は、他の職員へ伝達講習を行い、全体的な質の向上を図っている。	4.3
5	新しい教育と保育について情報を積極的に収集し、職員へ周知・還元している。	3.0

6	職員間で一人ひとりの保育課題に対して親身に話を聞き、その改善方法をアドバイスしたり、メンタル面の配慮を行っている。	4.0
<b>3 子育て支援の充実</b>	<b>評価点の計（最大値35）</b>	<b>29.3</b>
1	保護者に対して園の教育・保育目標を説明し、理解を得ている。	3.7
2	保護者・地域から寄せられた意見や要望は真摯に受け止め、園全体で共有しながら工夫・改善し、対応している。	5.0
3	発達に課題がある幼児については、保護者の気持ちにより添い、適切な支援につながるよう丁寧に対応している。	4.3
4	学力向上推進の取り組みの説明会や子育て講演会など、保護者が子育てについてのアドバイスが得られるような機会を提供している。	3.3
5	保護者が子育てに関する情報を得たり、関心が持てるよう、ポスター掲示やチラシ配布、本の紹介などを積極的に行っている。	4.0
6	家庭支援が必要と思われる場合、専門機関や福祉機関と連携しながら、家庭支援につなげている。	5.0
7	学級懇談会や保育参加等において、保護者同士がつながるコミュニティの場を設けている。	4.0
<b>4 行政への参画</b>	<b>評価点の計（最大値10）</b>	<b>10.0</b>
1	浦添市の計画に基づき、認定こども園の充実した運営を行なっている。	5.0
2	国の制度改革・主要施策等をふまえた体制・環境づくりを行っている。	5.0
<b>評価点の合計（最大値170）</b>		<b>148.3</b>

【取組状況に関するコメント】

【園長・主幹保育教諭等の意見】

- ・週案や月案などの立案は日々の忙しさから、前年度のものをそのまま使ったりし、今年度の子どもの実態に合っていない事があるので、実態に合わせた立案がしっかり立てられるようにサポートしていく。
- ・職員の資質向上のところで「新しい教育と保育について積極的に情報を収集し」とあるが、なかなか「新しい教育と保育」についての研修などがあまりないので機会があればそういう内容も学んでいき職員間でも共有していくようしたい。
- ・保こ小の連携は、この数年でかなり密になってきているように感じる。これからも継続して連携を図っていきたい。
- ・職員が様々な研修に参加し、1人ひとりの資質向上に繋がっていると思うが、日々の保育を十分に行う時間が減ってしまうと意味がないので、しっかりバランスをとって計画していきたい。
- ・神森校区は、地域とも保こ小とも連携がとれていて、繋がりがありスムーズにアプローチカリキュラムに取り組めて環境が良い。
- ・職員1人ひとりの資質も向上していてアドバイスがしやすい。また、仕事に意欲的にでチームワークが良い。
- ・今年度は、選ばれる園を目指し意識して動いているが業務時間内で取り組む難しさがある。
- ・小学校に隣接した複合施設である自園は、小学校、森の子児童センター、地域の施設と連携し毎月「5者会」を開催。会議では情報共有を行い連携することで、地域の子ども達の成長を見守ることが出来ている。自園の強みの一つである。
- ・架け橋カリキュラムに取り組むことで、小学校、校区内の保育園、こども園と情報交換を行ったり、小学校に参観したり互いの園を参観したりと繋がりが密になることができとても環境が良くなっている。ありがたい。